



日本ハム・ファイターズ 「パ・リーグ優勝記念セール」



家電フェア2007 & 大処分蚤の市 in 札幌ドーム

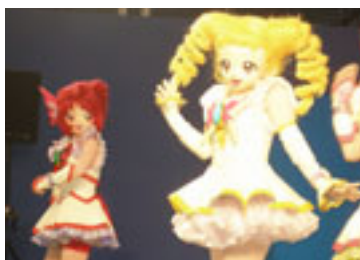
4回目となったヤマダ電機の「家電フェア2007&大処分蚤の市」が9月29～30日、札幌ドームで開催された。お買い得商品満載の「大処分蚤の市コーナー」をはじめ、メーカー各社の新製品が試せる「メーカーブース・コーナー」、そしてタレントやミュージシャン、キャラクターなどが出演した「イベント・コーナー」と、3つのゾーンはどこも終日、人波が途切れない大盛況だった。

折しもフェア期間中はプロ野球が優勝争いの真っ最中。札幌ドームを本拠地とする北海道日本ハム・ファイターズもパ・リーグのトップをばく進中とあって、家電フェアも「めざせ日本一!北海道日本ハムファイターズV2祈願セール!」と銘打たれていた。ところがファイターズは、フェア初日の29日にパ・リーグ制覇を達成。そのため翌30日は急きよ「ファイターズ優勝記念セール」

へと変更され、お祭りムードに拍車がかかった。

しかも、タイミングよく30日のトークショーには、ファイターズの高田繁ゼネラルマネージャーが出演。シーズン前、ファイターズの評価は決して高くなかっただけに、優勝までの秘話にファンは大注目。その熱気は、前夜行なわれたビールかけの興奮が、そのまま家電フェア会場に持ち込まれたかのようであった。

初日のオープニングセレモニーでヤマダ電機の一宮忠男副社長は「北海道へ初出店して8年。この間、地元の皆様にご愛顧いただいてきた。今回のフェアは、その感謝の意を表すべく、楽しく、有意義なものにしたい」と挨拶。この意気込みが十分に伝わる充実したフェアとなった。



メーカーブースでは各社が最新モデルを展示。薄型大画面テレビやレコーダー、デジカメなどのデジタル家電以外にも、クリーナーやレンジ、炊飯器や冷蔵庫などの生活家電も多数展示。レンジや炊飯器では試食会も開催された。



法人コーナーではディスプレイやプロジェクター、プリンターなどのニューモデルをはじめ、最新のオフィス機器やシステムが多数展示された。



北海道日本ハム・ファイターズ
高田 繁
ゼネラルマネージャー

若手が育ったことが大きい

- 昨日(9月29日) 勝った瞬間の気持ちは?

高田 何とか昨日で決めてほしかった。9回に6点取ったので、これでもう大丈夫だと思った。今期は小笠原や新庄が抜け、戦力が厳しかっただけに本当にうれしかった。

- 優勝の手応えはいつ頃か?

高田 5月18日時点で首位と8ゲームも差があった。しかし、翌日から14連勝。「ひょっとすると」とは思った。うちは逆境に強いチームだけに、もしかしたらと思った。ダルビッシュをはじめ先発の3人が本当に頑張ってくれた。点が取れないチームだけに、3点以内で勝利してくれたことが大きい。

また、ヒルマン監督が若い選手を勇気をもって使ってくれたこともポイントだった。小笠原の穴はそう簡単に埋められないと思い、最初は外国人を使った。しかし、それがはずれた。その穴を小谷野らが埋めてくれた。若い新しい戦力が育ってきた。ヒルマン監督は本当にうまくやってくれた。彼が素晴らしいので後任監督は誰がやっても大変。これから本格的な人選に入るが、その条件は一番目に勝てること。そして、ファンサービスをしっかりとやってくれる人を選びたい。

- 高田GMも今期限りと聞かれています。

高田 まだ、はっきりと決まっていない。ファイターズは大金を使ったFA補強はできないチームだけに、ドラフトが重要。ここで有望な選手を取り、二軍でしっかりと育て上げていく。そこさえ間違わなければ、誰がGMをやっても常に優勝争いができるチームだと思う。(敬称略)



ファッションリーダーとして大人気の梨花。トークショーには若い女性が多数詰めかけた。



HBCラジオで公開生放送。ファイターズウェアに身をこため、質問に答えるヤマダ電機の一宮浩二副社長。

すぎもとまさと、チェウニ、湯原昌幸のジョイントLIVE。ヒット曲の数々がドームにこだました。



家電フェアの聖LIVEでは、もはや恒例!? パソコンがあたるジャンケン大会には参加者が殺到した。

